



2016年11月号

さくら

発行：偕行会透析医療事業部 さくら編集委員会

「足を守るために」

医療法人偕行会 偕行会セントラルクリニック 看護師 課長
川越 由美枝

【はじめに】

朝・夕冷え込む季節になり、冬はもうすぐそこまできているようです。これからの時期寒くなると必ず足をやけどする方がみえます。フットケア指導士として足についてみなさんに知って欲しいこと、注意して欲しいこととお話したいと思います。



【フットケアって】

足に傷ができると全身状態にも影響を及ぼします。足の傷を予防するためにフットケアが大切になります。足を診たり触ったりして異常を早く発見して適切な診療科に受診していただくことが大切です。

予防的チーム医療で足の傷を 85%防ぐことができると言われています。足は心臓から一番遠い場所にあり最後に病変をきたします。

まずは、スタッフに足を見せてください。

ご自身でも足をみる習慣を！！